

御山地区体協会長杯 町内対抗親善ボッチャ大会

日時 2026年11月29日(日)

会場 御山小学校体育館

主催 御山地区体育協会

1 目的

本大会を開催することで、御山地区におけるポッチャ競技の振興を図るとともに、子供から高齢者まで気軽に楽しめるポッチャを通じて、年齢・性別・障がいのあるなしに関わらず、世代を超えた参加者相互の交流を深める。御山地区におけるポッチャ競技力の向上を推進することで、スポーツを通じた共生社会の実現、地区町内会のさらなる活性化を目的とする。

なお、次年度以降の体協事業化に向けての試行大会として位置付けて開催する。

2 開催期日

2026年11月29日（日）

事前の練習を21日と28日（いずれも土曜日）19:00～21:00

3 大会スケジュール

受付	9時00分	開会式	9時15分
競技開始	9時30分	閉会式	11時45分

4 競技方法、参加資格及び競技規則

① 競技方法：参加チーム数により予選を行う

【12チーム】3チームによる予選リーグ戦（2エンド）を行い、各ブロックの順位ごとの順位決定トーナメント（2エンド）を行う。

決勝と3位決定戦のみ3エンドで行う。

【16チーム】4チームによる予選リンク戦（2エンド）を行い、各ブロックの順位ごとのトーナメント1回戦（2エンド）を行う。

決勝と3位決定戦のみ3エンドで行う。

② チーム構成：1チーム3～4名で構成する団体戦

参加資格：各町内会最大で2チームとし、年齢・性別・障がいの有無は問わない（町内で2チームエントリーの場合、町内名の後にA・Bを付けて申込む）

チーム人数が不足する場合、御山地区の他町内のメンバーの参加を認める（御山地区に居住する人に限定する）

③ 競技規則：「御山体協会長杯ポッチャ大会競技細則」にて実施する

5 表彰

表彰は、優勝・準優勝・第3位として、表彰状を授与する

6 参加申し込み

各町内会より申込書を町内会の体協幹事を經由して総務へ提出する

申込期限：2026年10月31日（金）

7 その他

- （1）障がい者の参加もあるの、必要な配慮をすること
- （2）会場は土足厳禁であるので、選手は必ず室内用運動靴を使用すること
- （3）体育館内は飲食禁止ですが、水分補給の飲料は蓋のある水筒やペットボトルのみとする
- （4）運動に適した服装で参加すること
- （5）各自健康状態を考慮して、無理の無いよう注意して出場すること
- （6）貴重品は各自の責任で保管すること
- （7）ごみは各自持ち帰ること
- （8）駐車場は限りがあるので、できる限り徒歩や自転車を利用すること
自家用車で参加の場合は相乗りとし、大会運営に協力する

御山体協会長杯ポッチャ競技細則

第1条 主旨

御山体協会長杯の実施については、原則としてポッチャ競技規則（フレンドリーマッチ版）の他、この細則の定めるところによる。

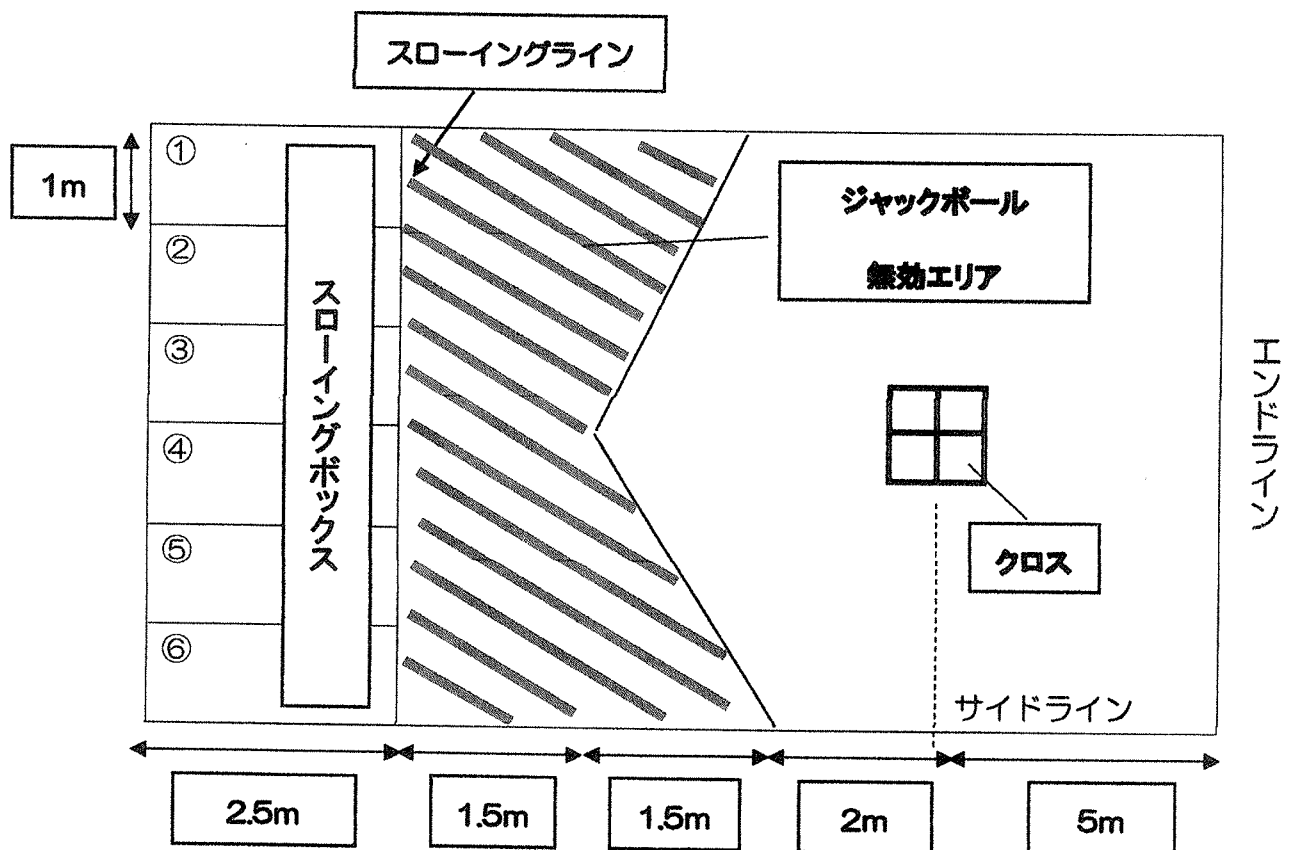
第2条 原則

ポッチャの競技を行う際の心構えは、敵・味方に関係なく、良いプレーは称賛し、ミスを責めるような言動は、選手・観客・指導者すべてにおいて控えること。

第3条 競技コート

競技コートは、下図のとおりとする。（正式コート）

- 2 先行チーム（カラーボールは赤）は下図①③⑤、後攻チーム（カラーボールは青）②④⑥のスローイングボックスを使用する。なお、同一試合における投球エリアの変更は認めない。



第4条 ボール

選手は、どちらのチームも自分たちが使用するボールを各自2つずつ持って試合に臨むことができる。また、ジャックボールは各チーム1つだけ用意することができる。これより多いボールを試合に持ち込んではいならない。

2 大きさ、重さの基準に準じていれば、競技に個人のボールを使用することができる。また、大会主催者が用意するボールを使用することもできる。

第5条 投球練習

試合を始める前に、各チーム6球の自ボールと1球のジャックボールを2分以内で投球練習することができる。ジャックボールはチーム内の誰が投げてよい。自ボール6球と1球のジャックボールを全て投げ切るか、2分を経過したとき投球練習は終了される。

第6条 目標球（ジャックボール）の投球

第1エンドでは、赤チームが審判が試合の開始を宣言し後に、コート内の任意の箇所に目標球（ジャックボール）を投球する。この際、コートを区切るラインを越えたり、Vラインを超えない場合はアウトボールとなり、目標球（ジャックボール）の投球権は相手チームに移る。

2 第2エンドでは、青チームが目標球（ジャックボール）を審判が試合の開始を宣告した後に、コート内の任意の箇所に目標球（ジャックボール）を投球する。以後は、第1エンドと同じ手順で行われる。

3 1試合のうち、同じ選手が目標球（ジャックボール）を2度投球することはできない。ただし、相手チームがアウトボールとなり目標球（ジャックボール）の投球権が2回以上移ってきた場合はこの限りでない。

第7条 試合の勝敗

合計得点の多いチームを勝者とする。

2 全エンド終了後に同点であった場合、各チーム代表者によるタイブレークにより勝敗を決める

3 前項のタイブレークは、クロスに置かれたジャックボールに対し1球1球ずつ投球を行い、ジャックボールにより近いチームの勝利とする。（ファイナルショット制度）なお、投球順はタイブレーク開始時にじゃんけんを行い決めるものとし、先に投球するチームのジャックボールが使用される。ファイナルショットは、コート内の任意の選手が投球する。ただし、ボックスを変更することはできない。

4 前項のタイブレークを実施した結果、再度のタイブレークを実施する必要が発生した場合は、前項と同様の方法により再度タイブレークを実施する。なお、投球順は1回目のタイプ

リーグ実施時から順番を変え、また投球する選手も1回目と別の選手が行う。

第8条 投球時間

1 エンドの投球時間は各チーム5分までとし、以降はエンド中の投球権利を失う。

第9条 ゲーム

ゲームは各リーグの総当たり戦で行うものとする。この際、必ず全てのチームが試合に出場するよう選出すること。

2 試合中は審判の指示に従うこと。

3 試合時間中は審判の指示がある場合、投球時間中に確認を行う場合以外は選手スローイングラインを超えることができない。

第10条 ブロック順位の決定

第10条により試合を行い、ブロック順位を決定する。順位決定に当たっては、①勝ち数、②直接対決、③得失点、④総得点が優先される。

第11条 その他

選手でないものが、コート外からアドバイスを送る行為は認めない。

2 その他、競技中プレーに疑義が生じた場合は、全て審判長の責任において判断する。

反則バイオレーション

今大会で用いる主な反則については以下の通りをします。記載のない反則については、主審及び審判長の判断により注意等を行うことがあります。

1 反則（バイオレーション）

（1）選手が投げる際にラインを踏んだ、補助具（ランブ等）がラインを踏んだ、ランブが空中上でラインを突き出ている場合。（投球動作後に踏んだ場合はOK）

（2）審判の指示がある前に投球する。

（3）審判の指示がないチームが投球する。

2 ペナルティについて

投球したボールは無効となり、アウトボールとなる。

第1回町内対抗親善ボッチャ大会参加申し込み書

日時 令和8年11月29日(日)御山小学校体育館
午前9時00分受付 9時30分～

町内会名 御山越 町内会長 様

◎参加の有無(参加 不参加)○で囲ってください。

参加者記入欄

No.	氏 名	連絡先(子供なら親の電話)
1		
2		
3		
4		

No.	氏 名	連絡先(子供なら親の電話)
1		
2		
3		
4		

申し込み〆切り
令和8年10月31日(金)
郵送か024-557-8001へ
参加の有無にかかわらず申し込み書を総務宛